

各 位

2016年1月4日  
蝶理株式会社  
経営政策部  
(IR・広報課)

## 蝶理株式会社 先瀆社長 年頭の辞（要旨）

皆さん、明けましておめでとうございます。

2016年が始まりました。中期経営計画「躍進 2016」の最終コーナーに入りました。そして私の社長2年目の始まりでもあります。改めて気の引き締まる思いがしております。

「躍進 2016」の達成のため、また2020年のビジョンに向けて、「躍進 2016」の方向性である「グローバルに進化する企業集団を目指す」というテーマを実現せねばなりません。

また、もう一つの重要なテーマは、昨年5月に子会社化したミヤコ化学㈱との連携強化です。当社とミヤコ化学㈱の両社のプラットフォームを結合して事業拡大を進めていかなければなりません。2019年で、のれんの償却も終わり、2020年度には連結業績に大きく寄与します。先に子会社化したパイ・ティ・アイ・ジャパン㈱と合わせれば大きな連結寄与が期待できます。

当社の貿易比率は80%を越えています。今後は、今迄で培ってきた基盤をベースにした「進化」が必要となります。グローバルに進化するためには、外に目を向けなくてはなりません。日本経済も、世界経済も、今、大きく変わろうとしています。TPP大筋合意、そしてAEC、RCEP（アールセップ）、また、デジタル製品の関税撤廃、これらは昨年秋から注目を集めている貿易自由化の流れです。他にもFTA、EPA等数多くあります。世界各国・地域が成長戦略として市場一体化を目指しています。それに対応したM&A、合従連衡は凄まじい規模であらゆる分野で進んでいます。

一方、生活面を見てみると、ネット販売の拡大スピードは早く、第四次産業革命とも言われるIoTで、電化製品や車など様々なものがインターネットに繋がり、日常生活の便利さもこれまで以上に加速していくことが予想されます。

2020年に2000万人の訪日客が目標となっていました、今年中に大幅更新することが確実視されています。昨年、ヒートアップした爆買いが今年も続くと思われます。

中国経済の変調、原油安、IS 問題、日本の少子高齢化、等々の多々の不安定要因はありますが、変化に応じて世界のビジネスのやり方は、益々変わって行きます。これからの数年で市場の一体化が劇的に進むと見通されます。

当社は、このような経済の流れや変化に応じて、グローバルに進化していくことが重要です。経済環境、時流に合わせて、会社も組織も進化しなければなりません。そのためには、社員一人一人が意識を変えて、進化し続けなければなりません。

また、CHORI Innovation 活動（CHOI 活）を通じた効率化の追求や無駄の削減も重要です。今の仕事のやり方の工夫、ムダの見直し、新しい仕事やより重要な仕事に注力できるような体制作りが必要となります。

これまでも一步一步着実に進めてきましたが、今年は、「躍進 2016」の達成、そして 2020 年のビジョンに向けて、もう少し大きな足跡を残す一年にしたいと願っています。

今年も健康に気を付けて、一緒に元気に明るく仕事をして行きましょう。

以上